

1 単元名 「走れメロス」を紹介するリーフレットを作ろう

2 単元を貫く言語活動とその特徴

単元を貫く言語活動として「走れメロスを紹介するリーフレットを作る」ことを位置づけた。「走れメロス」を読んで自分が魅力的だと感じた部分の紹介し、さらにどのような点で魅力を感じたのかを書く課題と、読んでいて疑問に思った点とその根拠をまとめる課題のどちらかを選択し、リーフレットを作成する。作成するためには、本文の描写や登場人物の言動に着目しながら魅力的だと思った部分、または、疑問に思った部分を要約したり引用したりする能力が必要であり、「C読むこと」(1)イ「文章全体と部分の関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること」の能力を育成することができると考える。また、なぜそう思うかの理由を踏まえて説明することで、ウ「文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる」能力の育成を図ることができると考える。

3 単元について

(1) 生徒観

生徒は前単元の「卒業ホームラン」と「字のない葉書」の学習で、叙述に即して登場人物の心情や描写を読み取る活動を行ってきた。また、本学級の生徒は素直でよく話を聞き、授業課題に集中して取り組むことができる。読書好きな生徒が多く、朝の読書の時間も意欲的である。そのため、音読したり、登場人物の描写を読み取ったりすることは得意な生徒が多い。説明文でも、段落構成を捉え、筆者の主張と根拠を読み取ることができる。しかし、主人公の行動や言動、文章の描写から心情を読み取ったり、そこから想像を広げて読んだりする読解が十分ではなく、長文や文学的文章を読むことに消極的な生徒が多い。また、感想を書いたり、良かったところを紹介したりするなど、文中の言葉以外を使って表現する語彙力に課題がある。

(2) 教材観

本教材は、長年親しまれている物語であり、メディア化もされているため、学習する前から知っている生徒が多い教材で、「走れメロス」では、人間の信実を信じながらも、貫くことが難しいことを知るメロスの葛藤や、人間を信じることができなくなった王ディオニスが対照的に描かれている。中学2年生は多感な時期である。こうしたいという理想と、理想通りにはいかない現実の中で悩みながら成長する時期でもある。その過程にある中で、主人公メロスと王ディオニスの考え方や行動に共感や疑問をもち、読むのが苦手な生徒でも物語に入りやすい教材である。特に、後半部分にある、メロスの信実を貫こうとする気持ちと、投げ出してしまいたいという「ふてくされた感情」との葛藤は、生徒たちの共感を得やすい部分でもある。また、漢語や比喩を用いた表現が多く、その効果について理解することで、自分の表現の参考にすることができる。また、題名がなぜ「走れメロス」なのか、王城の往路と復路でかかった時間など、さまざまな視点で課題を設定できる教材であり、生徒も興味をもって意欲的に取り組むことができると考える。

(3) 指導観

本単元では、「走れメロス」のリーフレットを作成するという、単元を貫く言語活動を設定する。リーフレットには、興味をもたせるようなキャッチコピーをつけること、魅力を感じた部分や疑問に思った箇所を引用したり、要約したりすること、なぜそう思ったのか、自分の意見をまとめること、という項目を設定する。「作品の良さをリーフレットで紹介する」といった、自分で興味をもった部分を紹介することで、物語文に苦手意識をもっている生徒も意欲的に取り組むことができる。

リーフレットのキャッチコピーをつけるためには、効果的な語句の使い方や表現を工夫する必要がある。これは「走れメロス」の文中にある表現や語句を参考にすることができます。その中でも自分が「おもしろい」と感じる部分を紹介するためには、深く読み取る必要がある。また、なぜそこに魅力を感じるのか、なぜ疑問をもったのかを説明するためには、ただ読むだけではなく、登場人物の行動や言動、描写に着目しながら読み取っていく必要がある。「リーフレットで紹介する」という課題を最初に示すことで、課題意識をもって深く読む能力と、自分の考えを説明する能力の育成ができると考えた。さらに、作成したリ

リーフレットは班の中で読み合い、交流することで、他者の視点や考えを知り、新たに疑問や魅力を発見することができると考える。

4 単元の目標

- 進んで文章を読み、興味をもった部分や疑問に思った部分を探しながら読もうとする。
(国語への関心・意欲・態度)
- 感想を交流するために、物語の構成や展開、描写や比喩などの表現について、具体的な部分を取り上げて考えをまとめることができる。
(読むこと)
- 登場人物の行動や言動から人物像を捉え、表現や描写に着目しながら読むことができる。
(読むこと)
- リーフレットの内容を考え、効果的な語句やキャッチコピーを使うことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none">・作品に興味をもち、読み取ったことをまとめて、リーフレットを作成しようとしている。	<ul style="list-style-type: none">・登場人物の行動や言動、描写に着目し、そのときの心情や変化を記述に即しながら読み取っている。・物語の構成や展開、描写や比喩などの表現について、具体的な部分を取り上げて考えをまとめている。	<ul style="list-style-type: none">・語句の意味を理解し、適切に使ったり、キャッチコピーを考えたりしている。・既習の表現技法を参考に、キャッチコピーや自分の表現に生かしている。

6 単元の指導計画（7時間扱い）

次 時	主 な 学 習 活 動	主 な 評 価
一 1	リーフレットを見て単元の見通しをもち、全文を読む。	<ul style="list-style-type: none">・作品に興味をもち、文章を進んで読もうとしている。 (関心・意欲・態度)
二	2 キャッチコピーに用いるために、漢語や比喩などの表現方法の効果を考え、意味を捉える。	<ul style="list-style-type: none">・文中に出てくる表現技法を探し、その効果を考えて適切に使っている。 (言語についての知識・理解・技能)
	3 ワークシートを使って、登場人物の人物像を押さえ、それぞれの役割や相関関係を捉える。	<ul style="list-style-type: none">・登場人物の言動や行動に着目して、人物像を捉えている。 (読む能力)
	4 メロスの心の動きを心情曲線に表し、気持ちの流れや葛藤を読み取る。	<ul style="list-style-type: none">・文章を読み、メロスの心の流れを読み取っている。 (読む能力)
	5 前時までの学習から、自分が紹介したいことをまとめ、リーフレットの下書きを作成・推敲する。	<ul style="list-style-type: none">・表現やキャッチコピーなど、付箋に推敲する点を書いている。 (読む能力)
	6 本時 「走れメロス」の魅力を紹介するリーフレットを作成する。	<ul style="list-style-type: none">・本文を読み、伝えたい部分をリーフレットにして紹介している。 (読む能力) <p>(言語についての知識・理解・技能)</p>
三 7	グループの中でリーフレットを読み合い、相互評価する。	<ul style="list-style-type: none">・他の人のリーフレットを読み、良かったところや工夫点、改善点などを付箋に書いて助言している。 (関心・意欲・態度) (読む能力)

7 本時の学習

(1) 目標

キャッチコピーや効果的な表現を考え、リーフレットで分かりやすく「走れメロス」で自分が考えた作品の良さを紹介することができる。

(2) 準備・資料

B4色画用紙、ワークシート、自己評価用紙、カラーペン、掲示物、下書き用紙

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 本時の学習目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> 表現技法やレイアウトを工夫して「走れメロス」を紹介するリーフレットを作成しよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 黒板に本時の目標と学習の流れを貼り、確認できるようにする。また、掲示したものはプリントし、生徒に配付する。 ワークシートに、リーフレットに入れる項目を示す。書くことが苦手な生徒には、レイアウトの見本を示す。 キャッチコピーは、自分の紹介したい部分から作成するように助言する。 キャッチコピーは、興味・関心を引くような言葉を選んだり、記号を適切に使ったりするように助言する。 机間指導を行い、なかなか思いつかない生徒には、詩の単元の時に学習した表現技法のワークシートを参考にするように助言する。
<p>2 効果的な表現を使い、分かりやすく「走れメロス」を紹介するリーフレットを作成する。</p> <p>(1) キャッチコピーをつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 体言止め 対句 比喩（直喻・隠喻） 記号（！・？など） 	
<p>(2) 「走れメロス」のあらすじを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> 物語の核心部分を全て書かないようとする。 文末に「・・・」をつけるなど、続きを読むくなるような工夫をする。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> あらすじを書く時のポイントを掲示し、自分が紹介したいポイントに沿って、その部分を中心とし、その部分を書くように指示する。 なかなか書けない生徒には、文中の言葉を使って要約するように助言する。その際、「食の世界遺産」で使用した要約のポイントのワークシートを参考にするように助言する。
<p>(3)一番魅力的だと思った部分を紹介する文を書く。</p> <p>(紹介文例)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>この作品の魅力は、主人公であるメロスの葛藤です。約束を果たそうとするメロスの前に洪水や山賊、日照りなど、様々な障害があり、友人との約束を投げ出してしまいそうになります。その時のメロスの「正義だの、愛だの、信実だの。考えてみれば、くだらない」という投げやりな態度になりながらも、再び走り出すまでの心の揺れが、とても人間らしいと思いました。</p> <p>私がこの部分を紹介したのは、この時のメロスの気持ちに共感したからです。何事も上手くいく時ばかりではなく、思いもしない出来事で落ち込んだり、投げやりになったりすることは私自身も経験があります。そして、誰にでもそういう葛藤があるのではないかと、作品を通して考えることができたからです。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 自分が一番面白いと感じた部分、興味をもった部分について紹介し、なぜその部分を紹介したいと思ったのか理由も明確にするように説明する。特に、紹介したかった理由については、具体的に書くよう指示する。 書く時には、下書きのワークシートを用意することで、推敲された部分を確認できるよう支援する。 前回グループの中で推敲したポイントを参考にして書くように指示する。 作成が早く終わった生徒には、本文をペン書きしたり、強調したい部分に線を引いたり、リーフレットに工夫を加えるように助言する。 なかなか書けない生徒には、読んだ感想を聞きながら、印象に残った部分を細かく書いていくように助言する。
<p>3 次時の学習の確認をする。</p>	<p>② 効果的な表現技法やキャッチコピーを使い、構成を工夫して、作品の良さをリーフレットで紹介することができる。（読む能力）（言語についての知識・理解・技能）</p> <ul style="list-style-type: none"> 次回は、今日作成したリーフレットを紹介し合い、相互評価をすることを伝える。